



学校だより

—しなやかで、たくましい

心とからだを育てる船二小—

令和6年5月31日（金）No.3

江戸川区立船堀第二小学校 校長 則岡 小織

温かい言葉で心のふれあいを

校長 則岡 小織



校庭の木々の葉も色濃い緑となり、園芸委員会の子供たちが植えた花も色鮮やかに咲いています。ひまわりもたくさん芽を出しました。梅雨の6月ですが、植物にとっては恵みの雨となり、これからの成長が楽しみです。子供たちも運動会に向けて力いっぱい体を動かした5月から、心を落ち着かせて過ごす「読書月間」の6月に入ります。雨音をBGMに本の世界を楽しむ子供が増えるとよいなと思います。昨年オープンした「魔法の文学館」には行かれましたか。『魔女の宅急便』の作者として知られる江戸川区ゆかりの児童文学作家・角野栄子さんの作品が詰まった素敵な文学館です。『魔女の宅急便』の舞台、「コリコの町」をイメージした世界が広がっています。ライブラリーだけではなく、黒猫シアターや栄子さんのアトリエもあります。この機会に尋ねるのもいいですね。



さて、6月は「ふれあい月間」でもあります。子供たちが楽しく学校に通うことは学校の一番の願いです。そのためには、学習・運動で分かること・できることが増えて楽しさを感じると共に心の充実・心の豊かさが重要です。「心の豊かさ」といっても心は目に見えるものではありません。でも、思いやりや温かな気持ちは行動や言葉に表れます。子供たちの温かな言葉や行動を認め、増やしていけるよう学校全体で取り組んでいきます。逆に、些細な言葉や行動が相手を傷つけることを理解させ、適切な言葉を使うことで豊かな心のふれあいができる子供の育成をめざします。同じ日に種をまいた植物であっても、芽の出る時期や花の色や形が違いうように、人も成長するスピードがちよつとずつ違います。それぞれのペースを大事に、じっくりと学び育ててほしいと思います。でも、人と合わせることやルールを守ることは人と関わって生活していくうえで大切です。集団の中での自分を伸ばせるよう支援していくとともに、「ふれあい月間」を通して、友達とのかかわりの中で、互いの良さを認め合えるよう励ましてまいります。

27日（木）～29日（土）は、学校公開です。お子さんの学校での生活や学習の様子をぜひご覧になり、頑張っているところをたくさん見つけてほめていただきたいと思います。他の子と比べるのではなく、我が子のよさを褒め・認めてください。子どもにとって大きな励みになると思います。

【 きれいになった池 】
主事さんが掃除をしてくださった池に55周年にあやかって金魚とメダカを55匹ずつ放流しました。子どもたちは興味津々です。大きくなるかな？

【 自分たちで考える 】
5年生の社会科の授業です。季節風について学び太平洋側と日本海側の違いについて黒板をノートがわりに、考えを出し合って学びを深めています。

【 元気におはよう！ 】
年間通して「あいさつ」に重点を置いて指導しています。2年生のあいさつ隊の明るい声が気持ちよく登校時に広がっています。

【 元気におはよう！ 】
年間通して「あいさつ」に重点を置いて指導しています。2年生のあいさつ隊の明るい声が気持ちよく登校時に広がっています。

